

一西だより

【朝の交通指導員が足りません】

過日開催されましたPTA役員常任委員会でも話題になりましたが、通学路の危険箇所にも立っていただける「旗振り」が不足しています。通勤ラッシュ時の道路横断で大変危険な状態にあります。児童の道路横断時の旗振りを日常的にお願いできる方を探しています。

特に、以下の場所と時間にお手伝いいただける方を探しています。毎日でなくても構いません。ご助力いただける方は学校までご連絡ください。
(担当：教頭 ☎93-2007)

- ① 一宮保育園前交差点 7:40~8:00
- ② みうら屋前横断歩道 7:40~8:00
- ③ 喫茶店ひなた前交差点 7:40~8:00

【5年生 野外教育活動】

6月24日(月)~25日(火)豊川市野外センター「きららの里」で5年生が学びを深めました。学校を離れ、時間にしばられずに学ぶ機会は貴重です。でも初めて親元を離れて友達と夜を過ごす人もいて、5年生にとっては1泊でも大変な冒険です。施設の方、山歩きの方、バスガイドの方、多くの大人のお世話になって学んでいることに気づけた2日間でした。

お世話をしてくれる人の気持ちになって、どのように振る舞うべきかを一人一人が「**自分の考えをもつ**



力」を發揮して行動に表しました。そしてガイドさんから「もっと教えてあげたい」という気持ちを引き出しました。また、これまで経験したことがないことにチャレンジしてやり遂げることで自信をつけた人も大勢います。「**チャレンジする力**」も育ちました。一西の子どもは他にも「**自分を表現する力**」と「**他人を大切にする力**」を伸ばしていきます。見える学力(成績やテストの点数)を伸ばしつつ、これら4つの見えない学力(見える学力を支える人間性=10年後に必要な学力)も高めていきます。

豊川市立一宮西部小学校通信

令和6年7月1日 第13号

発行；校長 村上謙一

【サポーター活動の広がり】

本紙で繰り返しご案内をしています「サポーター」も随時お申し込みをいただき、現在は18名に増えました。地域の大人が学校教育の当事者として、地域の宝である子どもを育てるのが「サポーター」活動です。



サポーターからご意見をいただき、「困っている子どもに寄り添う」活動から、学校を支える活動に広がりました。水泳の授業の安全を支える監視員、校庭の草抜きにも取り組んでいただくようになりました。今まではこれらの業務は教職員が行っていました。これを地域の大人に行っていただくことで、教職員は授業の教材準備などの本来業務をする時間が確保できます。

「地域の学校」では教職員も地域の大人も、子どもを真ん中に置いて、対等の立場で対話を重ねて活動します。しかし、教職員はこれを生活の糧として活動し、地域の大人は無報酬で活動します。私たち教職員はこのことを忘れてしまっはいけません。自戒です。



【なかよしペア活動】

6月26日(水)なかよしペア活動を行いました。1年生は先生の名前調べが課題です。6年生がやさしく付き添ってお手伝いをしてくれました。

